



LuraDocument® PDF

PDF Compressor Enterprise

スキャンしたカラー文書を高品質で高圧縮な PDF へ

アルテック株式会社
産業機械本部 情報マネジメント事業部

Tel: 03-5363-3005

URL: <http://www.altech.co.jp/luratech/luratech.htm>

目次

1	マニュアルについて.....	3
2	インストール.....	4
2.1	ハードウェア環境	4
3	スタートにあたり.....	5
3.1	GUIをスタート	5
3.2	エントリーを追加する方法	6
3.3	ジョブを走らせる	6
3.4	エントリーの削除する方法	6
4	ジョブエントリーの設定変更・セットアップ.....	7
4.1	処理モードの設定	7
4.2	入力データの設定	9
4.3	出力データの設定	10
4.4	オプションの設定	11
4.5	ヘッダーとフッターの設定	12
4.6	電子透かしの設定	12
4.7	エンコーダーオプションの設定	12
4.8	インポートとエクスポートのプロパティ	15
5	システムアドミニストレーションとライセンス.....	16
6	サポートについて.....	18

1 マニュアルについて

このマニュアルは LuraDocument PDF Compressor Enterprise のショートガイドマニュアルになります。重要な機能のみ全体マニュアルから抜粋しています。

いくつかのセクションでは詳細は省いております。その他多くのオプション機能については、このマニュアルでは触れていません。

はじめて LuraDocument PDF Compressor Enterprise をご利用する場合にご一読下さい。

2 インストール

LD_PDF_Compressor_win.exe ファイルを起動し、ウィザードを進めてインストールして下さい。インストールにはアドミニストレーター権限が必要になります。インストール後、LuraDocument PDF Compressor は評価版モードで動作することになります。その為圧縮後に生成されたファイルには透かしが入ります。

2.1 ハードウェア環境

LuraDocument PDF Compressor の推奨ハードウェア環境になります。別オプションの Born Digital をご利用する場合は、仕様が異なります。

オペレーティングシステム:	Windows® 2000 / XP / Vista / Windows 7 / Server 2003 / Server 2008
ソフトウェア:	Microsoft® .NET Framework 2.0, Microsoft® .NET Framework 2.0 Service Pack 1
プロセッサ:	1 GHz Intel / AMD or compatible x86. Single or multi core processor. 2 GHz or more recommended.
RAM:	最低 1 GB (2 GB/ プロセッサコアを推奨)
HDD 空き容量 (インストール):	250 MB

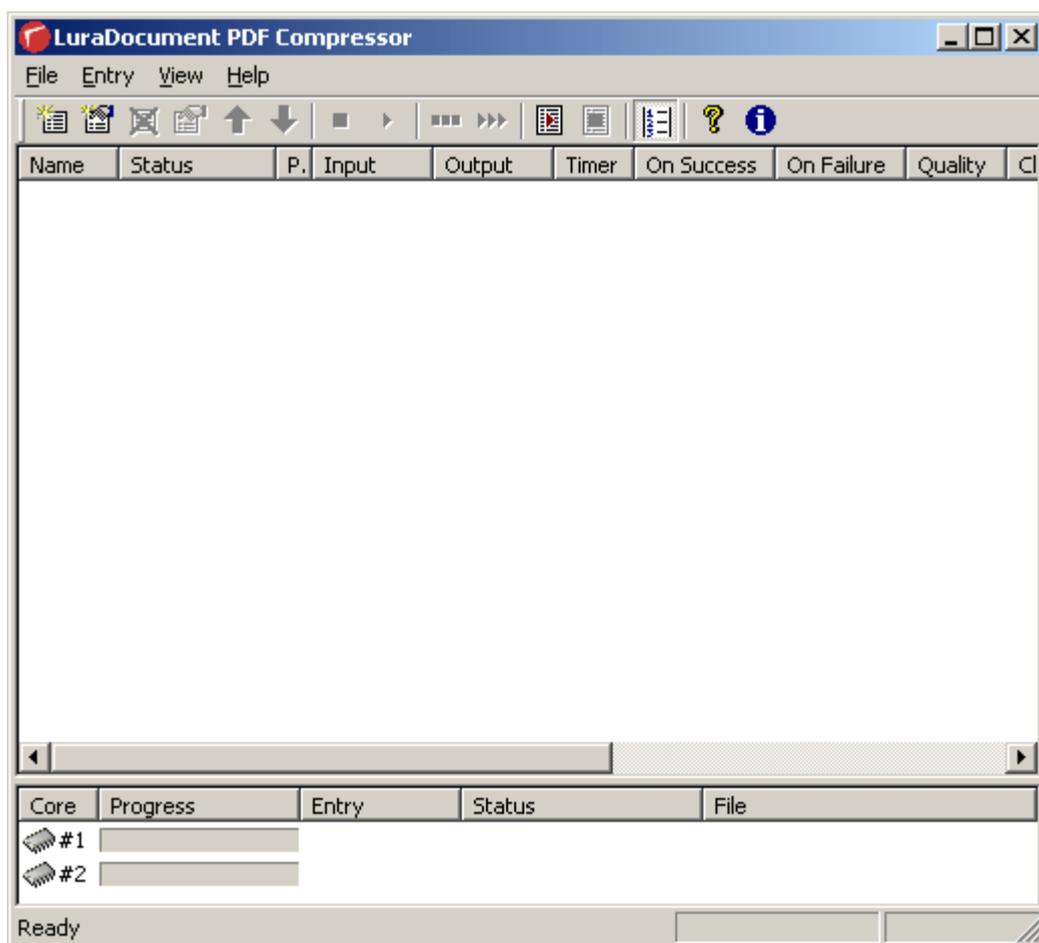
3 スタートにあたり

3.1 GUI をスタート

GUI をスタートするためには、LuraDocument PDF Compressor のタスクバーアイコンの  ボタンか Windows のスタートメニューからエントリーをして下さい。

LuraTech → LuraDocument PDF Compressor → PDF Compressor.

はじめて GUI をスタートする場合は、リストは空っぽになっています。

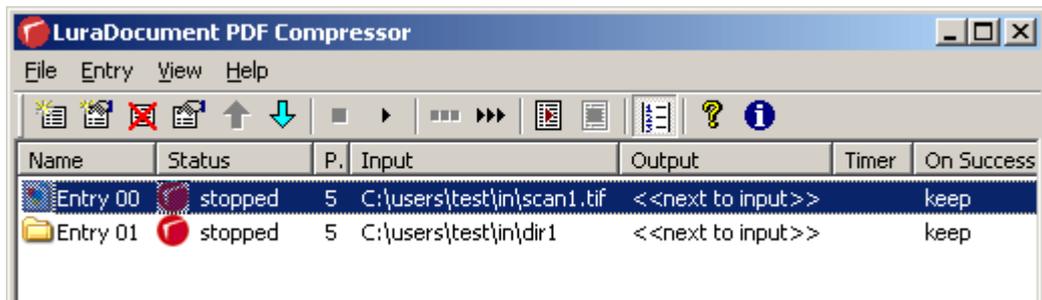


3.2 エントリーを追加する方法

新しくエントリーを追加するためには、いくつかの方法があります。

今回ご紹介するのは簡単な方法です。

最初に Windows のエクスプローラを開き圧縮したいファイルまたはフォルダをリストに直接ドラッグ&ドロップして下さい。ドロップされたファイル(フォルダ)は自動的に新しいエントリーとして変換され、次の圧縮対象として順番に並べられます。



3.3 ジョブを走らせる

リストエントリーからジョブをスタートする方法はいくつかあります。一つの方法をご紹介します。

スタートしたエントリーを選択して、ツールバーからスタートボタン  をクリックします。エントリーの状態は“停止”から“スタート”に変わります。その後、処理が終わると“停止”に戻ります。

ジョブが処理している状態でも、いつでも停止ボタン(ツールバー)をクリックすることで停止することができます。処理には数秒間かかります。中断処理した PDF データは取り除かれます。

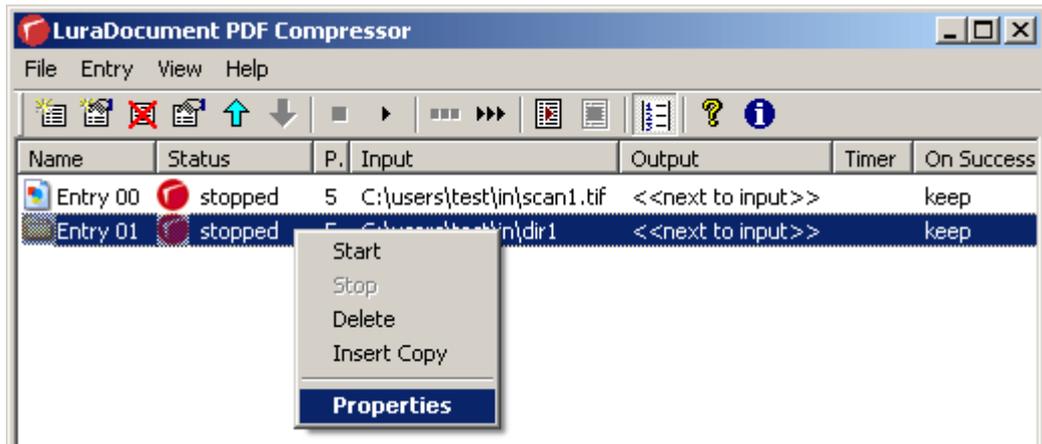
3.4 エントリーの削除する方法

現状のジョブリストを保存しなくても GUI をクローズすることができます。リストは GUI を再度開いた時と全く同じ状態が表示します。リストからエントリーを削除するには、選択した後、ツールバーより  削除ボタンをクリックします。

4 ジョブエントリーの設定変更・セットアップ

リストに追加した後も、ジョブのプロパティは編集可能です。プロパティのウィンドウ画面より次のように操作することで開くことができます；

- 設定変更したいエントリーをダブルクリック
- エントリーに関連するコンテキストメニューを利用（対象エントリーで右クリック）

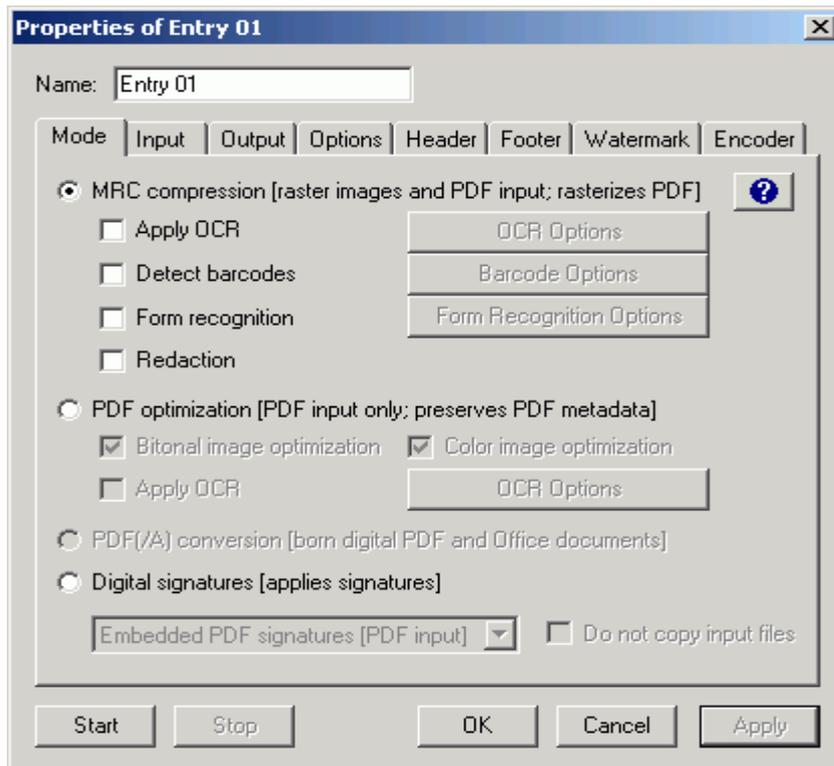


- エントリーを選択してツールバープロパティボタンを利用
- エントリーを選択してメニューを利用 *Entry* → *Properties*.

プロパティのウィンドウ画面内で、関連するジョブを容易に特定する為に、エントリー名を変更することができます。エントリー名は、警告、エラー情報などを特定する為に、ログファイル内も同様の名前になります。

4.1 処理モードの設定

Mode タブはそのジョブの圧縮全体または署名モード設定することができます。標準設定では、LuraDocument 圧縮技術を用いた PDF 圧縮技術の *MRC compression* (Mixed Raster Content compression) になっています。（圧縮エンジンに渡す前に PDF ファイルはラスタ化されます。）それに加えて、PDF ファイルと電子署名には次のような特別モードが利用できます。



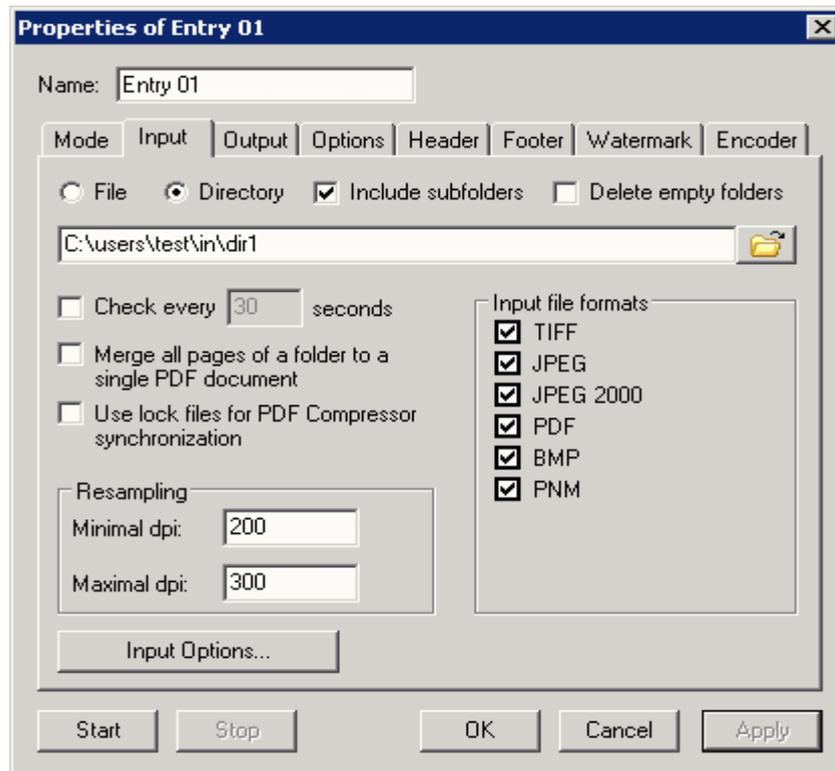
1. *MRC compression* を選択。画像形式に関係なくスキャン文書を圧縮したい場合、圧縮は事前に3つのレイヤーに分類（白黒テキスト、カラーテキスト、カラー画像（背景））して、個々のレイヤーに対して最適な圧縮強度で処理します。このモードでは、OCRの設定などその他いくつか設定があります。
2. *PDF optimization* を選択。主に白黒テキストまたはカラー画像のPDF文書を最適化したい場合、より効率的な処理ができるMRC圧縮アルゴリズムで白黒テキストとカラー画像をコーディングすることによって最適化を行います。

メモ：PDF最適化モードは非常に限られたPDFまたはPDF/Aを変換するのに利用できます。ほとんどのケースは、PDF形式の入力ファイルが複数ページ構成やスキャンによって作成されたデータになります。

3. *PDF(A) conversion* を選択。この機能は別オプション Born Digital Conversion Module を利用するときのみ使用します。
4. *Digital signatures* を選択。入力ファイルに電子署名を埋め込みます。この機能はオプションの Signature Module の有効ライセンスをインストールされるために、認可された署名カード、PIN番号と接続するカードリーダーとドライバーが必要になります。

4.2 入力データの設定

Input タブでは PDF 形式へ変換する入力データの設定ができます。現在、TIFF、JPEG、JP2 (JPEG2000)、PDF、BMP、PNM 形式を対応しています。複数ページの TIFF と PDF も対応しています。



ファイル単位で圧縮したい場合は *File* を選択、フォルダ単位で圧縮したい場合は *Directory* を選択して下さい。ブラウザボタンの  はファイルかフォルダを選択して下さい。ネットワークドライブから対象の入力ファイルまたはフォルダを特定することはできません。その代わりに、ネットワークシェアを次のように「syntax \\host\share\dir」指定することができます。その場合は、LuraDocument PDF Compressor サービスのログオン設定を変更して下さい。

1. *Directory* を選択した場合、次のようなオプションがあります：
 - a. *Include subfolders* を選択すると、選択したフォルダの中にあるサブフォルダにあるファイルも全て圧縮します。これを選択していないと指定したフォルダの中にあるファイルのみ圧縮します。
 - b. *Delete empty folders* を選択すると、全ての圧縮後入力ファイルが削除されます。全てのジョブが処理完了したら、出力フォルダは実行され、全ての空っぽになったサブフォルダも削除されます。入力フォルダがホットフォルダ設定し

ていた場合、クリーンアップ処理はホットフォルダがアイドルする度に実行されます。

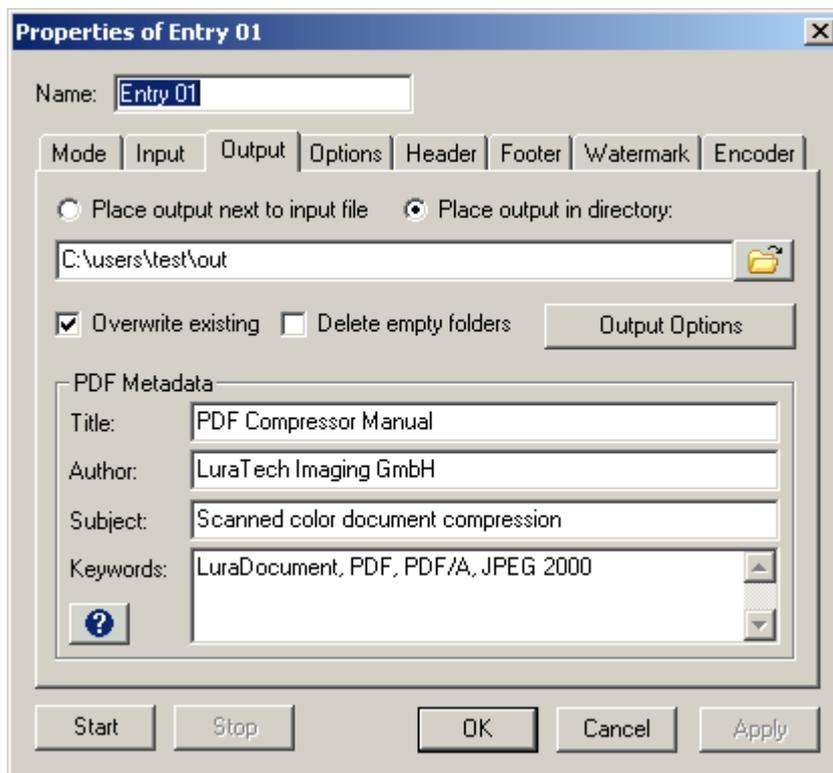
- c. *Check every <number> seconds* を選択すると、ホットフォルダ化することができます。例、新しいファイルが追加されていないかをチェックします。（例、外部スキャナやキャプチャーソフト）この機能を利用している場合は、ジョブは自動停止しません。常にフォルダを一定周期でチェックを行います。停止は手動で行って下さい。
- d. *Enable Merge all pages* を選択すると、指定されたフォルダにある全てのファイルを圧縮処理して 1 ファイルに統合します。それぞれ単一ページであったファイルも 1 ファイルに統合されマルチページになります。出力ファイルは `<name_of_the_input_folder>.pdf` となります。

この機能は複数の単一ページファイルが発生するスキャナで利用すると、1 ファイルマルチページに統合することができます。

- e. *Input file formats* は指定リストから選択できます。

4.3 出力データの設定

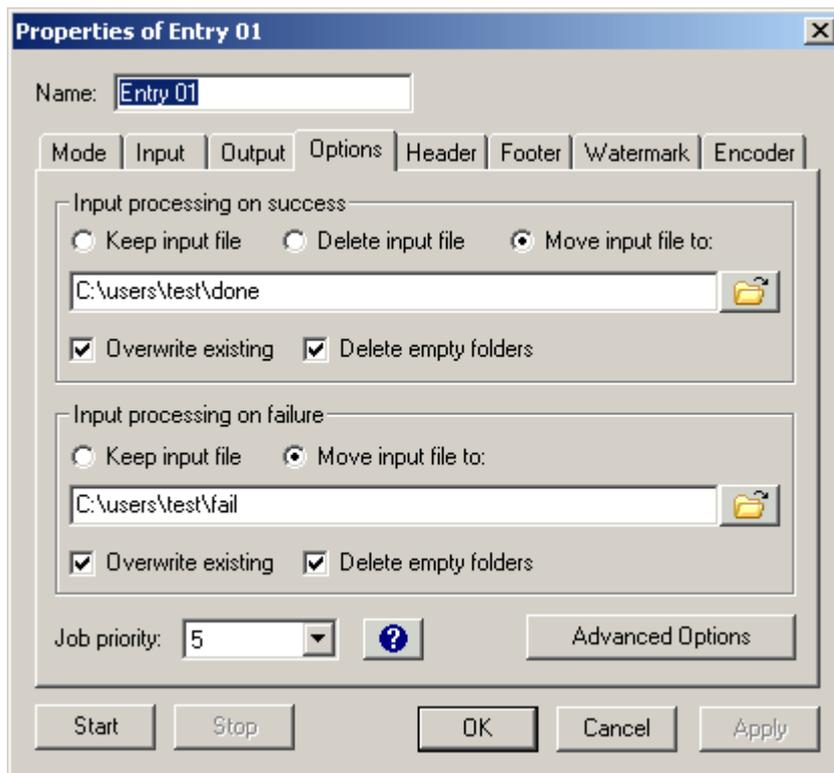
Output タブでは、出力の PDF ファイルをどこに保存するか設定します。それに加えて、出力用 PDF 文書に埋め込むメタデータを指定することができます。



PDF Metadata のエリアで入力されたデータは PDF 出力されたデータに埋め込まれます。それらメタデータは Acrobat Reader 内の以下メニューで閲覧することができます。
File → *Document Properties* → *Description*.

4.4 オプションの設定

The *Option* タブでは、入力データに対して特別なアクションで処理することができます。また、ジョブの優先順位設定もこちらで可能です。



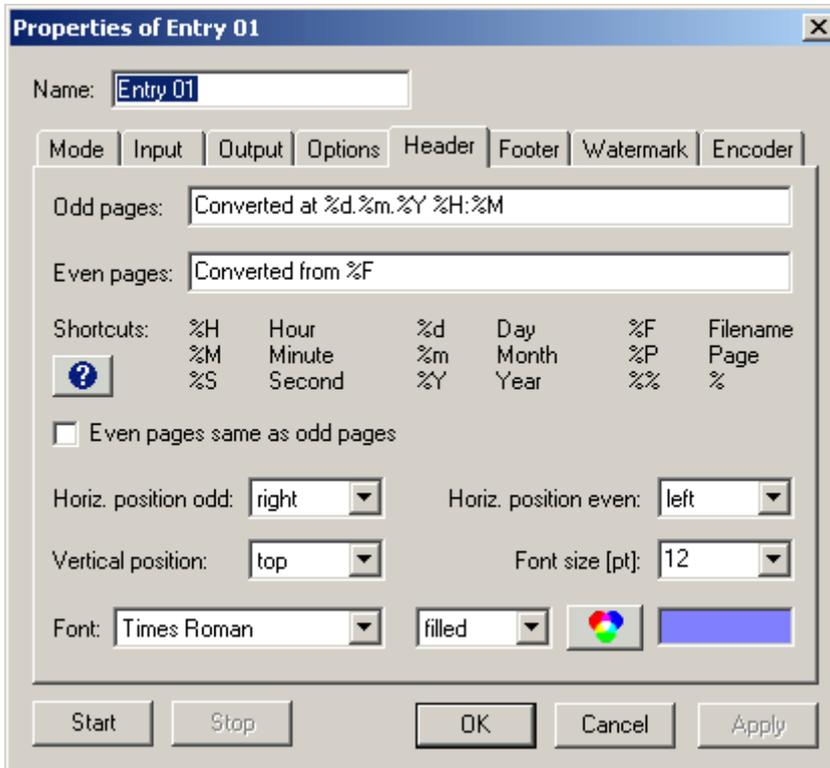
Job priority (ジョブの優先順位) は、最優先の 1 から最後の 10 まで値があります。数字が小さいほど優先順位は高くなります。この設定はメニューより、*File* → *Priority Processing Order* で利用できます。ツールバーのアイコンは *Priority Processing* モードの ON と OFF をスイッチできます。

もし、*Priority Processing Order* (優先順位の順番) が利用できない場合は、最優先のジョブが低い優先順位より前に処理をしているためです。

全てのジョブが同じ優先順位の場合は、順番に処理をしていきます。もし、複数 CORE の CPU ライセンスを購入している場合は、並列で処理ができます。

4.5 ヘッダーとフッターの設定

The *Header* and *Footer* タブでは、出力データにテキストを追加することができます。レーベルなどが追加できます。例、Draft（雛形）、ページ数、作成日付など。フォント、色、サイズ、埋め込み場所はカスタマイズが可能です。ヘッダーやフッター設定されたテキストは全てのページに適用されます。



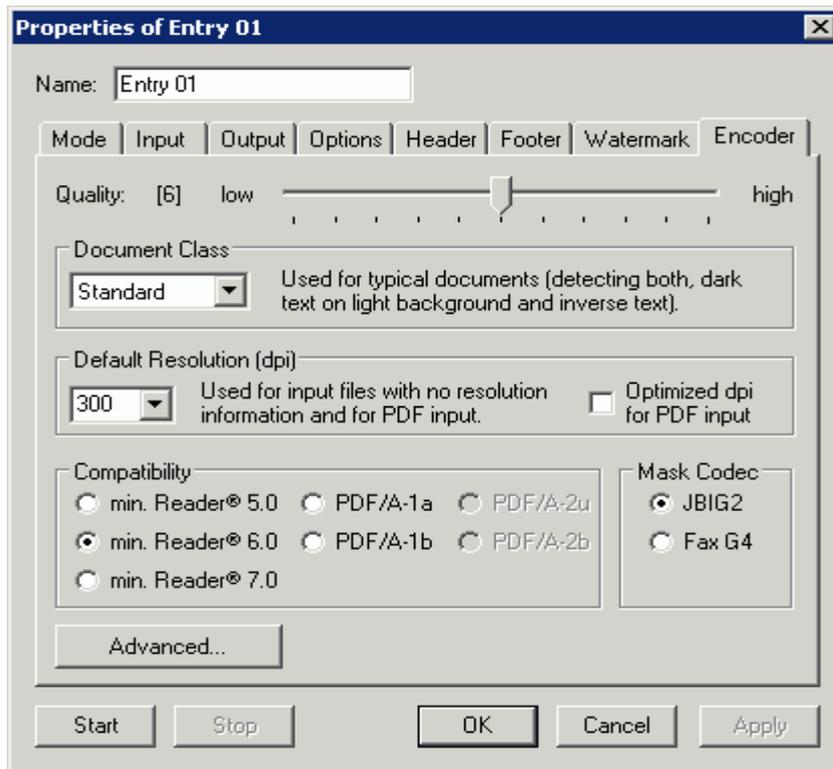
PDF/A ではこの機能は対応していません。

4.6 電子透かしの設定

The *Watermark* タブでは、画像（例、会社ロゴ）など出力データに電子透かしとして付加することができます。場所、サイズ、透明度は指定可能です。PDF/A では透明度設定は対応していません。

4.7 エンコーダーオプションの設定

The *Encoder* タブでは、画像圧縮のオプション設定ができます。これには、全体品質の背一定、特別な入力文書タイプに対する調整、互換性のある Acrobat Reader の指定などがあります。



1. *Quality*: high の方に近ければ近いほど出力データの画質は高くなります。しかし、サイズは大きくなります。low に近いほど画質は劣化しますが、サイズは小さくなります。
2. *Document Class*: 様々な入力データを対応するために、文書を分類できます。
 - a. *Standard* は全ての文書に利用される設定です。デフォルト設定です。
 - b. *Check* は小切手やトラベラーズチェックなど罫線が多くある画像を圧縮するとき有効な設定です。
 - c. *Photo* は、白黒テキスト検出は利用しません。全ては背景画像レイヤーとして扱われます。テキストや罫線がほとんどない画像で利用します。
 - d. *B/W* (black & white) は背景画像とカラー情報を利用しません。文書は最終的に白黒テキストになります。(FAX 文書のような)
3. *Default Resolution*: もし、入力画像ファイルに解像度情報が入っていない場合は、こちらに値を指定することができます。また、この値は入力 PDF ファイルをラスタライズするときに使えます。(通常 PDF は解像度情報を持っていません)
4. *Compatibility*: PDF Compressor で圧縮された文書を閲覧する Acrobat Reader を指定します。

Acrobat® Reader® 6.0 JPEG2000 で圧縮された PDF が取り扱い可能

Acrobat® Reader® 7.0 大型ページサイズに対応 (> 200 inches).

PDF/A: 2005年にISO19005-1にて長期保存を目的にした電子文書フォーマットとして発行された。PDF/AはPDF1.4のサブセットになります。PDF/Aには長期保存を目的にしたことからいくつか制限があります。例えば、パスワード設定が使用できないなど。

5. *Mask Codec*: JBIG2かFaxG4圧縮の選択ができます。JBIG2の方が圧縮結果が良くFaxG4より小さいファイルサイズになります。JBIG2にはLossy（ロッキー）とLossless（ロスレス）が選択できます。

4.8 インポートとエクスポートのプロパティ

ジョブリスト内の全てのエントリー設定はファイルとしてエクスポートできます。

- *File* → *Export job list*
- *File* → *Import job list*
- *File* → *Append job list* (imports a job list by appending its entries to the current list)

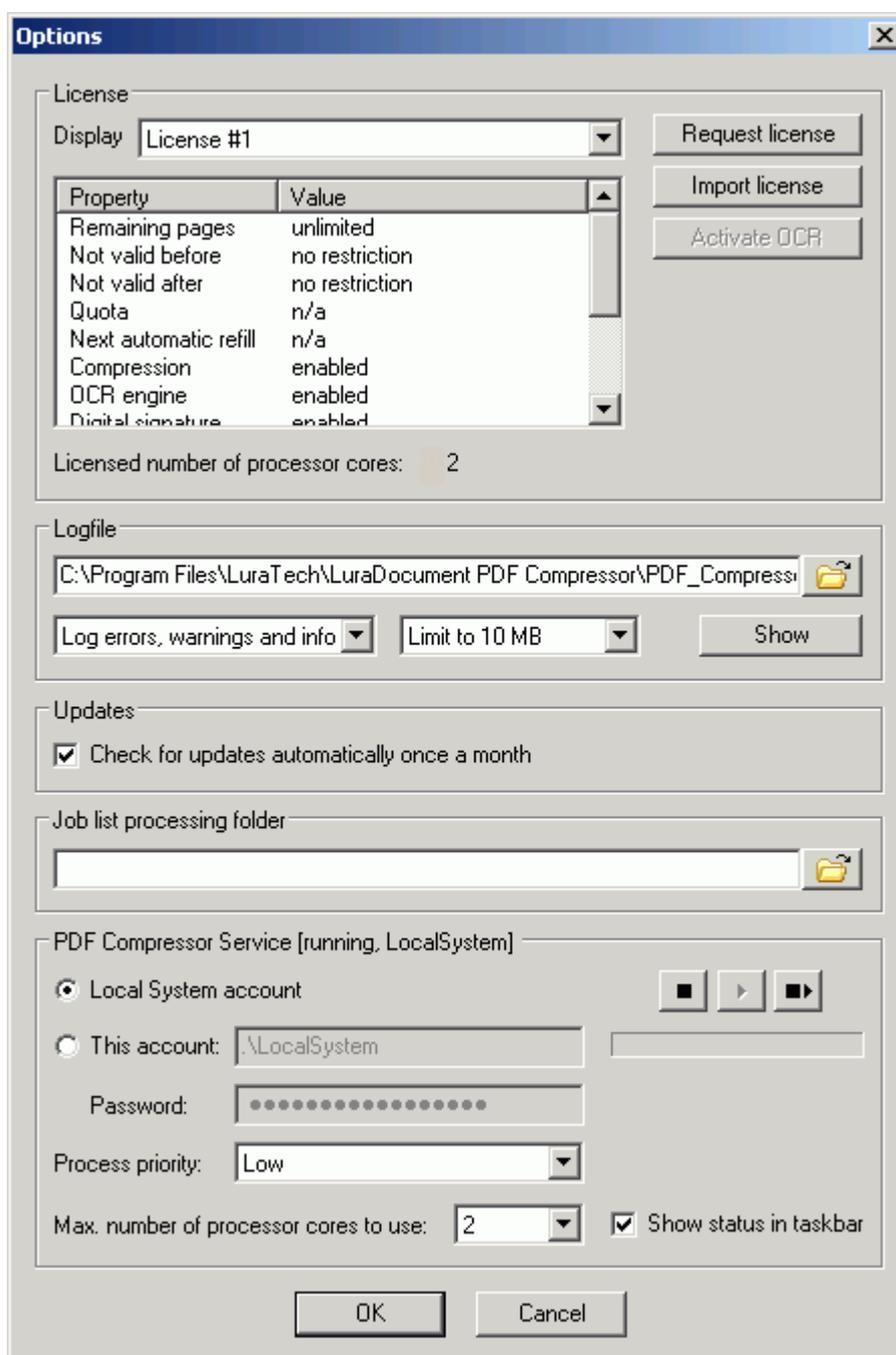
バックアップ目的で利用できます。*Append job list* では、複数のジョブリストを一つのリストとしてまとめることができます。

シングルジョブの設定は以下の手順でエクスポートできます。:

- *Entry* → *Export job...*

5 システムアドミニストレーションとライセンス

システムアドミニストレーションとライセンスの管理は、*File* → *Options* で可能です。



はじめて LuraDocument PDF Compressor をインストールした場合、評価版モードになります。全ての圧縮ファイルには、透かしが入っています。評価版でも OCR は可能ですが、OCR 出力を XML や HTML 形式ではできません。

PDF Compressor エンタープライズ版では、*Server*= 無制限、*Basic* = ページ数制限あり、*Advanced* = ページ数/年の制限あり、があります。ライセンス発行はメールで行うことができます。以下手順をお願いします。:

1. 最初に *Request license* のボタンをクリックして *license request* ファイルを保存します。ライセンスを担当者まで送信する。(*k-asai@altech.co.jp*) メールには、会社名、氏名など明記下さい。
2. ライセンスファイルとして *license.txt*.を後日送信します。
3. *Import License* のボタンをクリックして *license.txt*.を選択したら完了です。

ライセンス発行は有料です。お求めの場合、担当者までご連絡をお願いします。

6 サポートについて

もし、LuraDocument PDF Compressor エンタープライズ版で問題があった場合、以下の情報を添えてご連絡頂けますようお願いいたします。:

- LuraDocument PDF Compressor ソフトウェアバージョン
- OS のバージョン
- ライセンスファイル
- リクエストファイル
- ログファイルから最新の複数行

サポート窓口:

アルテック株式会社

情報マネジメント事業部

Tel : 03-5363-3005 Mail : k-asai@altech.co.jp

© 2011 **LuraTech Imaging GmbH**

Ulmenstr. 22

42855 Remscheid

Germany